

晟雄の会
総会開く

“命のDNA” 継承を誓う



映画スタッフとも交流

第3回深澤晟雄の会総会は6月7日午後2時から沢内バーデンで開かれました。総会には正会員108人のうち30人(委任状52人)が出席しました。また、高橋町長、佐々木町議会議長、久保県議会議員も出席して祝辞を述べました。

総会後の記念講演は「永遠なる『今』を生きる」
と題して光寿苑副苑長太田宣承氏の「西和賀人には深澤村長の『命のDNA』が受け継がれている」と、感銘深いお話に時を忘れるひと時となりました。総会は深澤晟雄資料館整備事業が中心となった20年度事業報告と決算を承認し、21年度事業と予算も原案通り承認されました。21年度は資料館の

人的体制・財政

基盤の安定化、

会員証発行に

よる組織の強

化などを重点

にしています。

役員改選で

は一身上の都

合で退任され

る理事の深澤

貞夫氏が深澤

佳道氏に、監

事の新田博光

氏が刈田敏氏

に改選された

ほかは留任と

なりました。

懇親会では劇映画「いのちの山河」撮影スタッフ7人も参加して今後の撮影・上映計画について報告がありました。(詳細は裏面に掲載)
また、この日仙台市から沢内病院に出張診療に来ていた眼科の佐渡先生が診療終了後に駆けつけて「私も賛助会員です」とスピーチ、参会者との交流を深めました。

27日は病院感謝デー

環境整備の奉仕活動

6月27日の土曜日は病院感謝デーとして沢内病院の環境整備の奉仕活動を行います。草刈機持参できる方を募集します。午後1時30分病院前集合です。作業終了後鈴木院長のミニ講話を予定しています。詳しくは下記事務局へご連絡下さい。

入館者3千人を突破

深澤晟雄資料館は昨年10月19日開館以来6月5日の入館者で3000人を達成しました。このうち、県内は2363人で入館者総数の79%を占め、盛岡市691人、西和賀町519人、北上市375人などで、地元西和賀町は県内トップの座を5月に盛岡市に譲りました。一方、県外637人の内訳は宮城県219人、

東京都154人、秋田県123人の順で5月の連休を中心に東京都と秋田県が入れ替わりました。1月から3月まで原則休館とし予約で開館しましたが、それでも334人の入館者がありました。また、ゴールデンウィーク(4月25日～5月6日)は224人で、東京、神奈川など首都圏からの来訪者がめだちました。

銚子市に輝く「深澤精神」

資料館で
出馬決意 病院再生へ元市長当選

市立病院の診療休止をめぐりリコール成立による失職に伴う千葉県銚子市長選は5月17日投票で行われ、病院再生を公約した元市長の野平匡邦氏(61)が返り咲きました。野平氏は今年3月2日深澤晟雄資料館を訪ねて感想ノートに「一部の市民から出馬を要請されており、決断にあたり深澤晟雄氏のオーラの一部を浴びるべく思い立って本館を訪問した」と記して

市長選挙には6人が立候補。失職・再出馬した前市長の得票(次点)に2倍の大差をつけて野平氏が当選しました。「生命尊重こそ政治の基本」と



銚子市長に当選した野平匡邦氏

いう深澤精神が銚子市に輝いたのです。病院再生をめざす野平市長のご活躍を祈って、深澤晟雄生誕の地からエールを送りましょう。

「いのちの山河」撮影再開

西和賀で10月封切めざす



除雪状況をみる深澤村長ら
村幹部(2月のロケから)

深澤晟雄の半生を描く劇映画「いのちの山河」は資金難から撮影を中断していましたが、毎日新聞など全国紙が「岩手・旧沢内村の奮闘物語、映画化に暗雲/資金難で支援呼びかけ」と報じたこともあって資金面で一定のメドがつき、7月16日から撮影再開の運びとなりました。

町民の皆さんにはロケに伴うエキストラの応援要請に協力してほしいと

呼びかけています。映画は9月末には完成し、10

あつたか雪国楓沢温泉ハウス様から資料館にビオラの花が寄贈され、連休以後の資料館の花壇は見違えるほどの五色の彩りで来館者の心をなごませました。連休に東京から来館したご婦人は、「い

ビオラの寄贈に感謝

のちの館にふさわしい、心癒される鮮やかな花ですね」と五月晴れに輝く花壇に目を細めていました。皆さんの心を幸せにしてくれたあつたか雪国楓沢温泉ハウス様のご好意に心から感謝いたします。

月上旬に西和賀会場を封切に県内各地で上映後全国上映に移行予定です。すでに全国20箇所が上映に名乗りを上げています。

サンセットコスモス
「村長ばなこ」
種を無料配布

昭和41年の深澤晟雄の胸像除幕式に植えられ「村長ばなこ」と呼ばれたサンセットコスモスの種を資料館で無料配布しています。紫波町の橋本農場産の純粋種です。数に限りがあり、先着順です。品切れの際はご容赦ください。